

# ソニー株式会社における本社オフィスの構築を中心とするFMの実践 (1/3)

## ファシリティマネジメントの実施概要



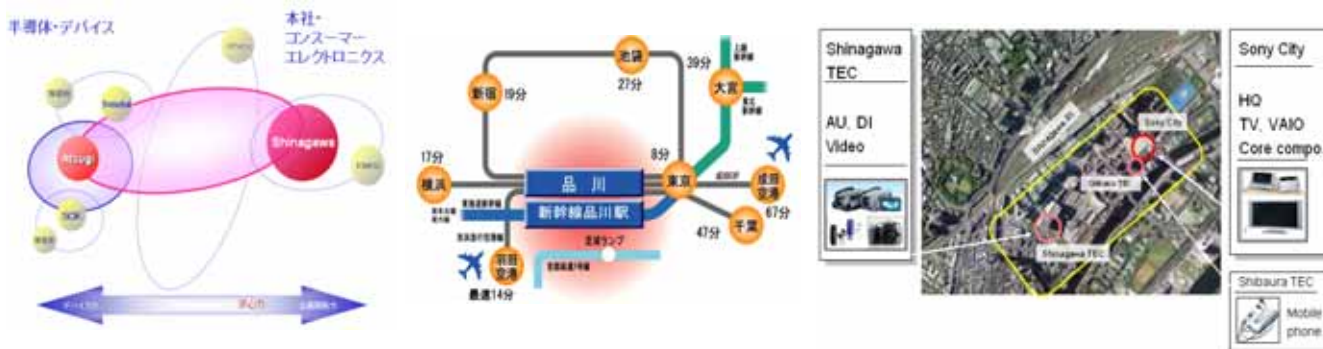
ソニー株式会社では、設立趣意書にある「真面目ナル技術者ノ技能ヲ最高度ニ發揮セシムベキ自由豁达ニシテ愉快ナル理想工場ノ建設」の企業理念のもと、「楽しいオフィス、人が大事にされるオフィス」の実現を目指して、ファシリティマネジメント活動に継続的に取り組んで来た。

ソニーグループでは「Sony United」とスローガンを掲げ、事業と事業、人と人、コンテンツとサービスなどさまざまな連携・協力・融合を進めている。その中で、前例のない広大なフロアプレートのソニー株式会社新本社オフィスが造られた。この本社オフィスでは、経営ビジョンの実現、コミュニケーション向上、社員へのサービス、効率的施設管理、環境への配慮等の実践を行っている。

### 1) ソニーの経営戦略とマッチした拠点統廃合の実現

中期経営方針とシンクロナイズした、拠点統廃合計画の実践

- ・新本社の立地環境 - スピード経営に貢献する、港区港南の交通アクセス
- ・分散していた拠点の統廃合による、オペレーション非効率の解消
- ・経営ニーズに応えた、「本社 + コンシューマーエレクトロニクスビジネス集結」の実現

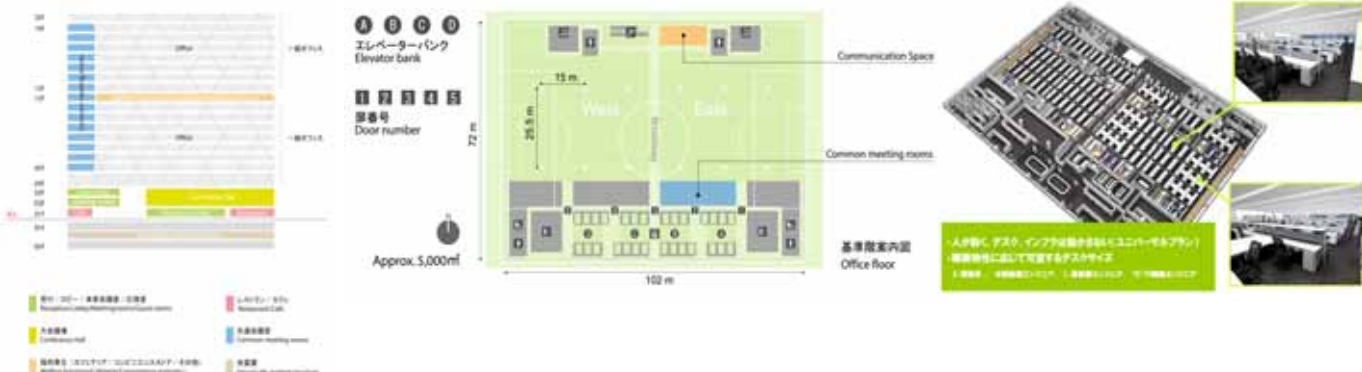


効果: 拠点集約によるオペレーション効率アップと年間数億円規模のファシリティコスト削減

### 2) 広大なフロアプレートの活用による6,000人規模の社員集結、グループ求心力の強化 - 大FM

広大な床面積とユニバーサルレイアウト手法を活用した、効率の良いスペースプランニング

- ・1フロア最大500人規模の広大なフロアプレートを最大限活用した集結ニーズへの対応
- ・ベンチテーブルを利用した、事務系ワーカーから大型商品開発エンジニアまで全てに対応したオフィスプランニング
- ・「集会所」として機能するための、1,000人規模の大会議場を含む低層部コミュニケーションゾーンの充実



効果: 6,000人規模の社員集結、社内コミュニケーション向上による会社業績回復への貢献

# ソニー株式会社における本社オフィスの構築を中心とするFMの実践(2/3)

## 3) 利用者の感性を考慮したオフィスづくりへの工夫、推進体制の整備と継続的改善活動 小FM

巨大フロアの中でのヒューマンスケールの創出と交流促進の場の提供

- ・デスクの大海の中に置かれた社員の感性に考慮したオフィスづくり ヒューマンタッチな空間の提供
- ・各階のエスカレーターホールを活用した、「On」と「Off」を結ぶ「In-between」スペースでの交流促進



効果: 個人への配慮によるユーザー満足度向上 (POEにて総合満足度64.0 – Class Bを達成)

## 4) 自社製品活用による、オフィス機能向上とマーケティング

館内セキュリティとITコミュニケーション領域におけるソニー自社製品の有効活用

- ・高精細度のセキュリティカメラと、非接触式ICカードによるアクセスコントロール
- ・プロジェクター、液晶モニター等の映像装置によるITコミュニケーションの向上
- ・円形のテーブル、ブロードバンドネットワークを利用した「Tele-Presence」環境のビデオ会議室
- ・本社オフィスを自社商品のショールームとして活用することによる、マーケティングへの貢献



Photo: 金子俊男



Photo: 金子俊男

効果: セキュリティのレベル向上とビデオ会議による業務効率アップ、マーケティングへの貢献



# ソニー株式会社における本社オフィスの構築を中心とするFMの実践(3/3)

## 5) グローバル企業として海外事業所へのFM水平展開

本社オフィスのFMベストプラクティスを海外事業所へ水平展開

- ・「Sony United」の推進と併せた、全世界ソニーグループとのFMベストプラクティスのシェアとベンチマーキング
- ・2009年夏に完成予定の、ソニーエレクトロニクス・アメリカ本社ビルPJへのサポート活動



効果: グローバル企業の日本発FMの啓蒙活動と、ナレッジシェアによる全世界での良質なオフィス計画の推進

## 6) ソニーにおけるFMの実践とその効果

FMに取り組むための組織とPDCAサイクル、課題に対する改善効果

- ・ソニー株式会社とソニーファシリティマネジメント株式会社による、FMの統括マネジメント実行
- ・FMプロジェクト実行とともに、ファシリティ関連データの定期的集計による「ファシリティ白書」発行
  - 白書の役割 主要ビジネス拠点のスペース、ファシリティコスト、入居人員をFM基礎データとして活用
  - 白書の役割 ビジネスやワークスタイルの変化に応じたワークプレイス計画(ガイドライン)を立案



- ・経営に対して、常にファシリティコストが最適となるよう拠点戦略を提案・実行
  - 規模が小さく面積あたりのファシリティコストが高い建物群を中心にした、統廃合提案の推進
- ・ファシリティの利用者に配慮した、各事業部門ごとのフロントリーダー配置による意見やニーズの速やかな把握
  - サイトマネジャーがファシリティ、総務、セキュリティといった機能をひとつに束ねてワンストップサービスを提供

